

令和4年3月11日掲載

熊本日日新聞 読者の広場「若者コーナー」

3年 原田 珠依（はらだ みい）さん

タイトル：「多くの支えと思い忘れない」

昨年7月、熊本県吹奏楽コンクールが開催されました。一昨年は、新型コロナウイルスの影響で中止になっていたので、開催が決定した時は本当にうれしかったです。

しかし、吹奏楽は息を使って演奏する楽器が多いので、皆同じ方向を向いて演奏する、窓を全開にして少人数で演奏するなど、人一倍感染予防に気を使う必要があります。そのため、全員で合奏できない日が続きました。

そんな中、他校の先生に講師として指導していただいたり、市の吹奏楽団の練習を見学したり、不足している楽器を借りたりして本番を迎えました。

当日は、観客を少人数にしたり、各団体の会場への滞在時間を最小限に抑えたりするなど、たくさんの細かい取り決めがあり、いつもとは違う緊張感を感じました。でも、懸命に練習してきた自分たちを信じ、心を込めて演奏しました。その結果、金賞を獲得することができとても心に残る思い出となりました。

先生方や保護者の方々をはじめ、地域の吹奏楽団の方々、厳しい状況下で、私たちの安全を配慮しながらこのコンクールを開催・運営して下さった吹奏楽連盟の方々…。このコンクールを通してたくさんの支えを体感し、私たちが活動できることは当たり前ではないのだと感じました。

このコロナ禍で私たちが学生生活を送れる背景には、数え切れないほどたくさんの支えや思いがあることを忘れず、周囲の人への感謝を常に持って生活していきたいと思いました。